

# 龍谷大学校友会

## 第21回（2021年度）「校友会賞」受賞者プロフィール

### ○個人

氏名：武田 亮子 タケダ リョウコ

所属：2020年度卒業  
校友会体育局柔道部

選考理由：

大学入学後から数々の国際大会に日本代表として出場し、素晴らしい成績を収めてきた。また、柔道部の女子主将としてもチームをけん引し、そのひたむきな努力が実を結び、国内最高峰の大会である講道館杯兼全日本選抜大会で創部初の日本一に輝いた。

### ○個人

氏名：仲村 果乃 ナカムラ カノ

所属：経済学部2年生  
校友会体育局ゴルフ部

選考理由：

本学ゴルフ部に入部してすぐに中心選手として活躍し、2020年度に開催された関西学生女子リーグ1部昇格の原動力となった。また、個人としては20数年ぶりに関西女子学生ゴルフ選手権で優勝し、全国大会への出場を決めた。

### ○個人

氏名：小林 初音 コバヤシ ハツネ

所属：国際学部3年生  
ボランティア・NPO活動センター 学生スタッフ

選考理由：

「あしなが育英会あしなが学生募金事務局京都ブロック」統括マネージャーとして、コロナ禍により不安を抱える学生の心のケアや貧困を考えるための勉強会や交流会を開催し、その活動を広く社会にアピールするなどの活動に取り組んだ。

また、「TEAM EXPO 2025」プログラムへの参画など学外での活動に加え、ボランティア・NPO活動センターの学生スタッフとしても活動し、遺児としての自身の経験を語るなど、他の学生が活動に参画しやすい状況をつくりあげた。

## ○個人（ペア）

氏 名 : 末谷 朴 スエタニ スナオ  
原田 ひかり ハラダ ヒカリ

所 属 : 2020 年度卒業  
学友会体育局バトン・チア SPIRITS

選考理由 :

バトンチームをけん引し、第 47 回全国大会（2019 年度）団体の部での 4 年連続の金賞受賞に大きく貢献した。

また、第 48 回全国大会はコロナ禍のため賞の設定がない開催となったが、予選大会で金賞を獲得し、全国大会への出場権を得た。また、全国トップクラスの選手が集まった全日本選手権「シニアⅡ部門」に出場し、3 位の好成績を収めた。

## ○団体

氏 名 : 学友会体育局男子バスケットボール部

選考理由 :

一部昇格後一年目の 2020 年度関西学生バスケットボールリーグ戦において、常勤の指導者がいない中、これまで培ったチーム力の結束をさらに固め、見事に 5 位の成績を収め、18 年ぶりのインカレ出場を果たした。

## ○団体

氏 名 : 文学部 先輩ズ

選考理由 :

コロナ禍において、入学式やオリエンテーションが中止となった 2020 年度新入生の不安解消に向け、文学部の上回生を中心に活動を開始。Twitter などの SNS を駆使して多くの新入生と直接繋がり、Zoom を使った履修相談や Twitter でのライブ配信、オンライン新入生歓迎会の実施など様々な取り組みを企画、実行した。

オンライン授業下においては、オンラインカフェを企画し、学部内の先輩・後輩の縦の繋がりを持って、日常的なコミュニティ支援にも取り組んでいる。これは学生自らが立ち上がり、互いを支え合う「まごころ」のある取り組みで、本学の新生支援に大いに貢献した。

これらの取り組みは全学の学生支援（ROSW）に波及した他、他大学においても参考事例として活用されている。

# 龍谷大学校友会

## 第32回（2021年度）「龍谷賞」受賞者プロフィール

### ○龍谷賞 受賞者

氏 名 : 古谷 正覚 フルヤ ショウカク 1971年 文学部 卒業  
現 職 : 聖徳宗第7代管長、第130世 法隆寺住職  
生年月日 : 1948年10月生まれ 奈良県在住

選考理由 :

1999年より法隆寺執事長、2019年に管長代務者を経て、2020年に聖徳宗第7代管長、第130世法隆寺住職に就任され、1400年の法灯を受け継がれた。

特に本年（2021年）は、聖徳太子1400年の大遠忌にあたり、世界最古の木造建築群を始め多くの「国宝」を有する法隆寺住職として、日本初の憲法「十七条憲法」も含め、太子の精神である仏法を大切にされ、また、日本初のユネスコの世界文化遺産に認定された文化財の維持に努められ、広く内外に平和の精神をアピールすることに尽力されている。

### ○龍谷奨励賞 受賞者

氏 名 : 瀬川 和正 セガワ カズマサ 2014年 経済学部 卒業  
現 職 : 鳥取県スポーツ協会  
生年月日 : 1989年8月生 鳥取県在住

選考理由 :

トップセーラーの多くが幼少期からヨットを始める中、在学中からヨットを始め、卒業後にレーザー級のトップセーラーへと成長された。レーザー級での東京オリンピック出場を目指していたが、日本代表選考で敗退後、強靱なフィジカルが要求されるフィン級へ転向し、急ピッチで肉体改造に取り組み、東京オリンピック代表となった。

その不屈の精神で挑戦する姿は、メディアでも取り上げられ、本学の学生や校友だけでなく、多くの方に勇気と感動を与えた。

## ○龍谷奨励賞 受賞者

氏 名 : 三木 俊和 ミキ トシカズ 2010年 法学部 卒業  
2012年 法学研究科 修了  
現 職 : 有限責任事業組合まちとしごと総合研究所 共同代表  
京都市伏見いきいき市民活動センター センター長  
生年月日 : 1987年6月生 京都府在住

選考理由 :

大学院在学中に特定非営利活動法人「きょうとNPOセンター」に就職。その後、「若者が、地域課題解決に本気で参画できる場の提供」を念頭に、龍谷大学と同センターが協働するプログラムを運営し、年間150名以上の大学生・高校生と共に、地域の課題解決に卒業生と在校生がともに取り組む仕組みを立ち上げ、深草キャンパスの地で運営し続けている。

## ○龍谷特別賞 受賞者

氏 名 : 三好 嘉一 ミヨシ ヨシカズ 1968年 経済学部 卒業  
現 職 : 尺八演奏家 芸名: 三好 荒山  
生年月日 : 1944年9月生 京都府在住  
受賞歴 :

1975年12月 グリーンリボン賞新人賞  
1980年1月 大阪府文化祭奨励賞  
1985年6月 京都市文化芸術協会賞  
1988年2月 グリーンリボン賞演技賞  
1992年4月 龍谷奨励賞  
2012年1月 京都府文化賞功労賞

選考理由 :

日本で数少ないプロの尺八演奏家として洋楽器やオーケストラとの競演も多く、幅の広い活動を続け、世界20数ヶ国に於いて日本の伝統文化の紹介、尺八の普及、発展に努められている。

また指導者として、京都の他、金沢、東京、岡山、松山、ハワイに教授所を開設し「清荒社」という団体を作り多くの門人の育成、近年は邦楽アンサンブル“みやこ風韻”を結成され、団長をつとめ邦楽のすばらしさを学校公演等を通じて若年層への普及伝承にも力を注いでいる。